

第28回測量経営者研修会 実施報告

平成29年9月7日(木)、東京都新宿区の測量年金会館において、(一社)東京都測量設計業協会との共催により、第28回測量経営者研修会を開催しました。

今回の研修会には、56名の受講者が参加しました。

日本測量協会関東支部長の小野邦彦氏の挨拶で開会し、続いてオープニングアドレスとして東京都測量設計業協会会長の岩松俊男氏から「東京都測量設計業協会の活動紹介」があり、協会の活動方針、入札・契約制度に関する諸問題への対応、人材確保・育成に向けての取り組み、広報・社会貢献活動の実施などが紹介されました。



小野支部長の開会挨拶



東京都測量設計業協会の岩松会長による「東京都測量設計業協会の活動紹介」

次に、特別講演として、本年3月に閣議決定された第3期となる地理空間情報活用推進基本計画の策定にも尽力された衆議院議員の新藤義孝氏から「G空間社会の実現に向けて」と題して、政府のICT成長戦略、G空間情報プロジェクトの概要、G空間社会の実現がもたらす農業・林業・観光・交通・ヘルスケア分野への効果などについての紹介がされました。



新藤義孝議員による特別講演

続いて、国土地理院長の村上広史氏から「測量とGKK(技術・広報・教育)」と題して、第3期の地理空間情報活用推進基本計画の概要、測量を取り巻く状況（市場規模、技術革新、担い手確保）と取り組むべき課題、広報・教育に関する国土地理院の取組みなどについての講演がされました。



村上国土地理院長による講演

続いて行われたパネルディスカッションは、「GIS NEXT」誌の副編集長であり地理空間情報アナリストの遠藤宏之氏の司会により、「測量業のビジョン－夢のある測量業と測量士の未来像について－」をテーマに、3名のパネラーにより討議を行いました。



パネルディスカッションの様子

最初に三陽技術コンサルタンツ(株)代表取締役であり日本測量協会関東支部副支部長の吉岡慧治氏から測量業が抱える現状の問題点がいくつか示され、それらの問題点に対して国土地理院企画部長の鎌田高造氏が「官」の立場から、日本大学理工学部教授の佐田達典氏が「学」の立場から解決案や将来の見通しなどについての意見が述べられ、測量業の将来に向けての活発な意見交換が行われました。



左から、司会の遠藤氏、パネラーの佐田氏、鎌田氏、吉岡氏

最後に、社会部会長の小安隆夫氏から閉会の挨拶があり、今年度の測量経営者研修会を予定どおり終了しました。



小安社会部会長による閉会挨拶

本研修会の開催に当たりましては、東京都測量設計業協会ならびに関東支部社会部会委員の皆様にご尽力をいただきましたこと、関東支部事務局より深くお礼申し上げます。